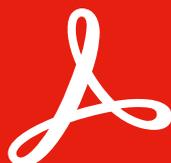


法人向けライセンス



Adobe Document Cloud

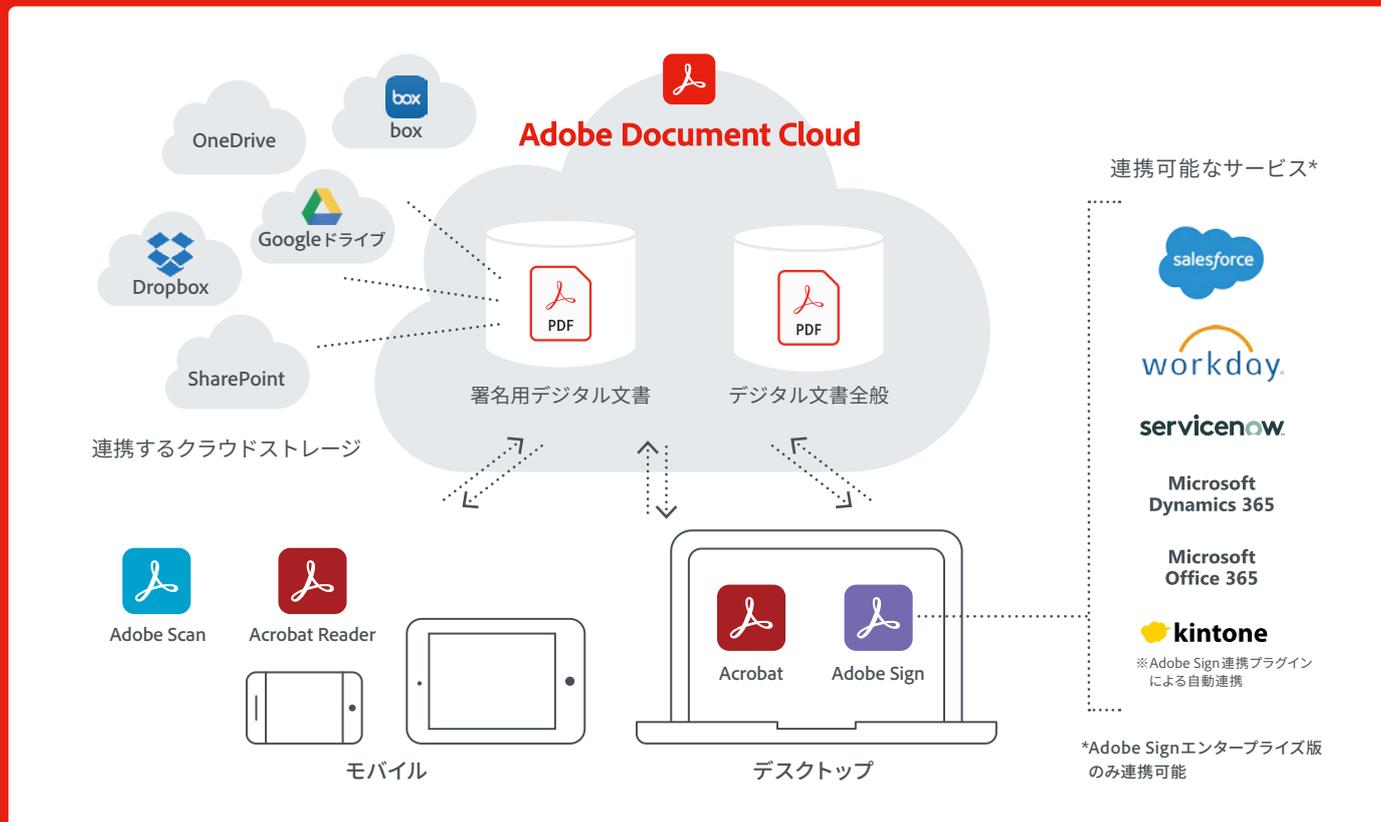
総合カタログ

組織に、新しいドキュメント体験を

Adobe Document Cloud

組織のデジタル変革を推進するドキュメントプラットフォーム

PDFで世界を変えたアドビが、再びクラウドで世界を変えます。Adobe Document Cloudは、PDFテクノロジーをベースに、Acrobat DC、Adobe Sign、モバイル版アプリ、そして各種オンラインサービスを統合したクラウド型ドキュメントプラットフォームです。既存の企業システムとも連携し、時間と場所の制約にとらわれないスピーディで安全なドキュメントワークフローを実現します。



Adobe Document Cloud 製品ファミリー

▼ デスクトップ製品



Adobe Acrobat Pro DC

PDF文書を最大限に活用するためのトータルソリューション



Adobe Acrobat Standard DC

信頼性の高いPDFを作成・活用するための基本機能を搭載



Adobe Acrobat Reader DC

PDFを確実に表示し、注釈や印刷が可能な無償アプリ



Adobe Sign

場所やデバイスを問わない電子サインソリューション

▼ モバイル版アプリ*1



Adobe Acrobat Reader DC*2

デスクトップでの文書作業をモバイルデバイスで継続



Adobe Scan

紙の文書をスキャンし、高品質で汎用性の高いPDFに変換

*1 App StoreまたはGoogle Playから無償でダウンロードできます。 *2 サブスクリプションプランを購入すれば、有償の追加機能を利用できます。

Document Cloudについての詳しい情報は <https://acrobat.adobe.com/jp/ja/>



Document Cloudを利用するメリット

Document Cloudのソリューションを最大限に活用するには、サブスクリプション（期間契約）での利用がおすすめです。サブスクリプションは、契約期間内に一定の金額をお支払いいただくことで、常に最新の製品とサービスをご利用いただけるほか、従来の永続ライセンスにはない以下のようなメリットがあります。

予算管理が容易

年間契約プランのため、年間の予算が立てやすく、初期費用も低く抑えられます。経費としての計上も可能です。さらに、導入本数に応じたボリュームディスカウントもご利用いただけます。



管理者の負担軽減

組織の変化に応じて利用者を自由に変更できます。ライセンスの追加や割り当て、付け替えなどを1つの管理画面から簡単に行えます。誰がどの製品を使用しているか常に把握することができます。



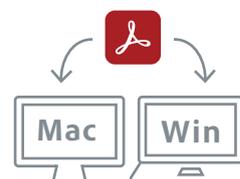
使いたい時にすぐに使える

面倒な購入手続きは不要。メンバーにライセンスを割り当てればすぐに使用を開始できます。注文から納品までのタイムラグがなくなり、仕事を滞りなく進められます。



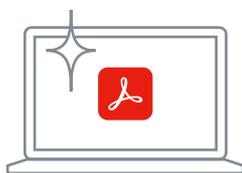
OS問わず2台まで使える

MacとWindowsのどちらでも、1人の使用者につき2台までのコンピューターに製品をインストールすることができます（同時起動はできません）。会社と自宅を使い分けることも可能です。



常に最新の環境を維持

契約期間中は、常に最新の製品と機能が使用できるため、買い替えるの必要がありません。また、最新のセキュリティアップデートが継続的に提供されるため、コンプライアンスも担保できます。



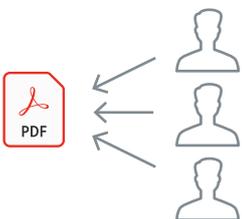
場所やデバイスを問わず作業を継続

モバイル版アプリを使用すれば、デスクトップで行っていた作業をそのままスマートフォンやタブレットで継続できます。ファイルは常に最新の状態でクラウド上に保存されます。



様々な文書業務を効率化

デバイスを問わず複数人が同時にPDFにコメントを追加したり、内容を確認したりできます。また、電子サイン機能を使えば、手書きの署名や押印が必要だった契約および承認業務も電子化できます。



既存システムとのシームレスな連携*

既にお使いのシステム、プロセス、アプリケーションにDocument Cloudソリューションを簡単に追加できます。API連携による電子サイン機能とカスタムアプリケーションの統合も可能です。

* Adobe Signエンタープライズ版のみ連携可能



Adobe SenseiによるDocument Cloudの機能向上

Adobe Senseiは、AI（人工知能）とマシンラーニング（機械学習）を統合したプラットフォームです。紙の書類から検索/編集可能なデジタル文書への自動変換、適切なフォントの自動選択、フォーム用フィールドの作成、署名の視認性の向上など、Document Cloudが提供する数々の機能にAdobe Senseiのテクノロジーが活かされています。



Adobe AcrobatとPDF

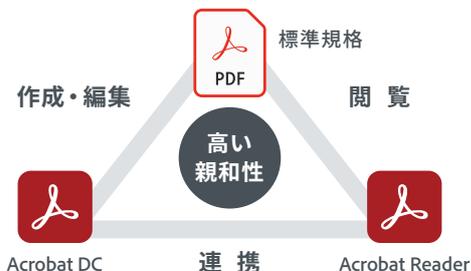
日常あたりまえのように目にするPDFは、どれも同じ品質のものとは限りません。全世界で普及しているAcrobat Readerでの閲覧が保証されているのは、Acrobatをはじめとするアドビ製品で作成したPDFだけです。



Adobe Acrobatで作成したPDFはここが違う！

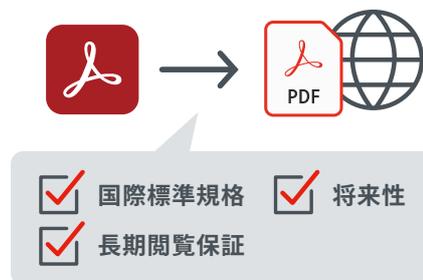
どんな環境でも正確に表示

PDF、Acrobat、Acrobat Readerはアドビが開発し、共に進化を続けてきました。これらを組み合わせることで、最も信頼性の高いPDFを作成し、どんなデバイスやOSでも正確に表示、活用することができます。



長期保存に適している

PDFは、仕様が100%公開されたオープンフォーマットのため、長期的な閲覧に適しています。また、ISO標準規格に完全に準拠したPDFを、Acrobatで作成、検証することができます。



業務効率の向上

紙の文書をPDFに置き換えることで、時間と労力のかかる手作業を減らし、業務を効率化できます。保管場所を確保する必要もなく、紛失や破損なども防げます。



確実に情報伝達できる

PCはもとより、スマートフォンやタブレットでも、作成元の文書と同じ体裁でPDFを閲覧できます。文字化けや画像の抜け落ち、レイアウト崩れの心配はありません。



簡単に検索できる

PDFは文書内の文字検索が可能のため、必要な情報を素早く探し出せます。スキャンされた文字もOCR処理により検索が可能になります。



行政で採用される信頼性

ファイル容量が小さく、確実に情報の伝達が行えるため、世界中の様々な企業や行政機関で広く利用されています。



改ざんを防止できる

パスワードや電子証明書を使った暗号化により、PDFへのアクセスを制御できます。情報漏洩や改ざんを防ぎ、安全に電子文書を配布できます。



見るだけじゃない、AcrobatでPDFを最大限に活用

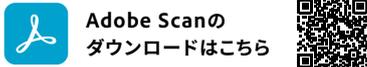
1. 作成

Office文書、画像、Webページ、メールなど様々な形式のファイルから簡単にPDFを作成できます。紙でしか残されていない書類や雑誌のページ、手書きのメモなども検索/編集可能なPDFに変換できます。



紙文書をスキャンしてPDFを作成

紙の書類をスキャナーで取り込み、テキスト認識(OCR)やゆがみ補正を自動で行いながら、検索可能なPDFに変換できます。モバイルアプリのAdobe Scanを使用すれば、スマートフォンのカメラで書類やホワイトボードの内容を撮影し、PDFに変換することも可能です。



カメラを向けると、書類を自動で認識してシャッターが切られます



パースなどの画像のゆがみを補正し、まっすぐにします



OCR処理によりテキストが認識され、検索可能なPDFに変換されます

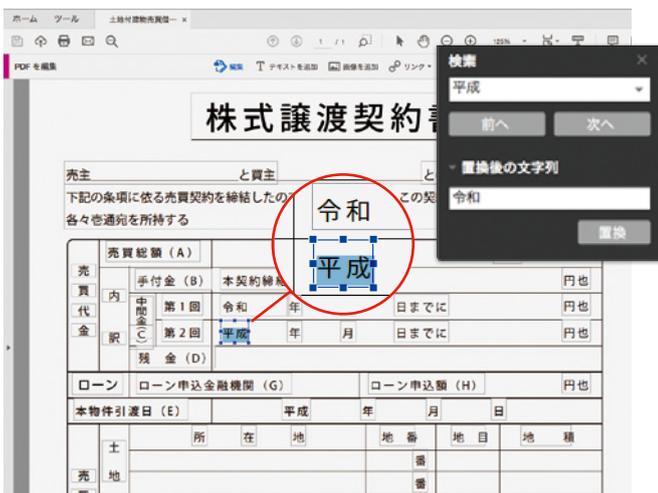
2. 検索

Acrobatの検索機能を使用すれば、キーワードを入力して現在開いているPDF内をすばやく検索できます。また、高度な検索を使用すれば、特定の場所に保存されたすべてのPDFを検索し、目的のファイルを簡単に見つけ出すことができます。



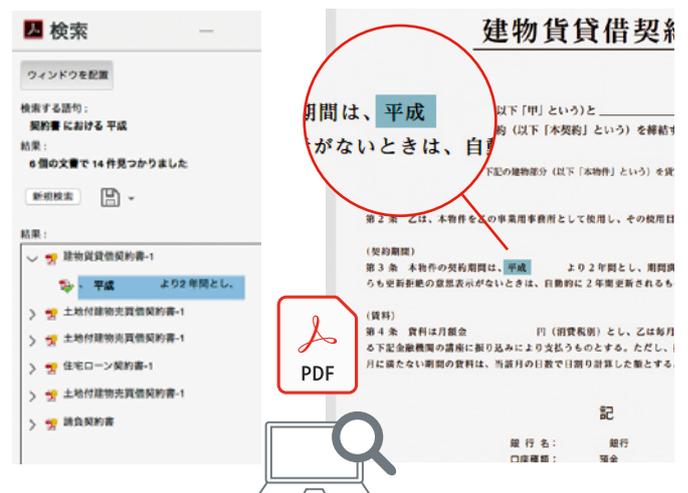
文書内の該当箇所を検索

簡易検索では、検索ツールバーに検索するテキストを入力すると、文書内の該当箇所がハイライト表示されます。検索と同時に代替テキストに置換することも可能です。



複数のPDFをまとめて検索

「高度な検索」では、PCやサーバーなど特定の場所に保存されたすべてのPDFを検索することが可能。検索結果から該当するファイルと項目をワンクリックで表示できます。



3. 編集

PDFの内容を変更するのに、作成元のファイルもアプリケーションも不要です。Acrobatなら、PDF上で直接テキストや画像を編集できます。また、PDFをWordやExcel、PowerPointの形式に書き出して、再利用するのも簡単です。

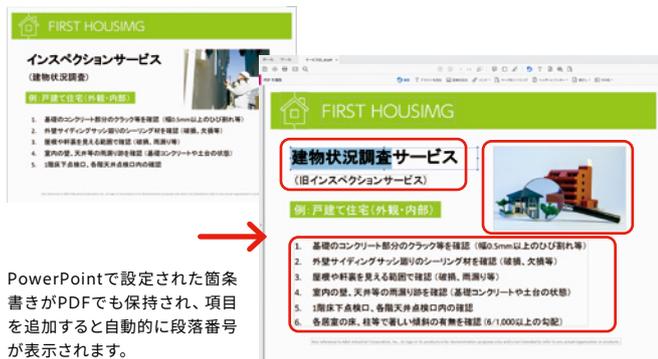


PDFを直接編集して素早く修正

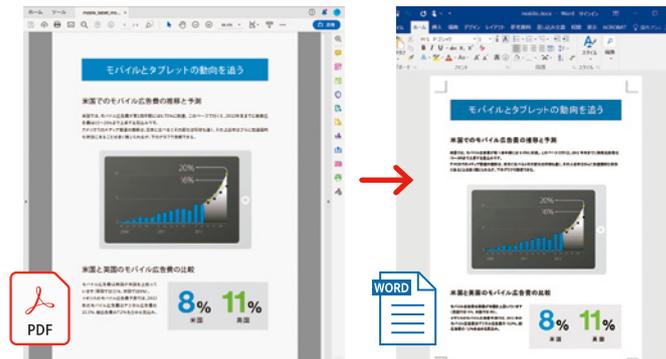
Acrobatの編集ツールを使って、PDF上で文字の修正や追加/削除、フォントの変更、箇条書きの設定などが行えます。また、画像の大きさや位置、トリミングを変更したり、別の画像に差し替えたりすることができます。

Office形式に書き出して再利用

フォント、書式、レイアウトを保持したまま、PDFをWord、Excel、PowerPointのファイル形式に書き出せます。情報の再入力や書式の再設定は不要。Officeアプリケーションで開いてすぐに編集を開始できます。



PowerPointで設定された箇条書きがPDFでも保持され、項目を追加すると自動的に段落番号が表示されます。



4. 共有

文書を複数の関係者と共有し、それぞれのコメントを取りまとめるのは大変な作業です。Acrobatを使用すれば、チーム内でドキュメントをリアルタイムでレビューしたり、いつでもどこでもあらゆるデバイスで簡単に共同作業を行えます。

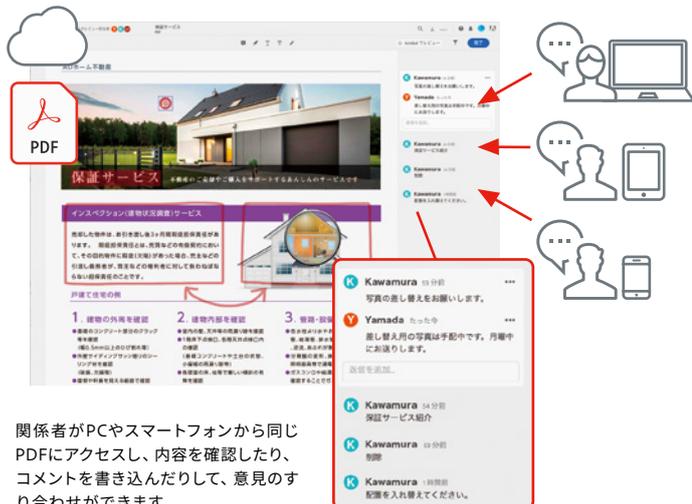


文書と注釈をリアルタイムで共有

共有レビューを使用すれば、PDFのリンクを一度に送信するだけで、複数の関係者がクラウド上の単一のPDFにアクセスし、互いに注釈やコメントを追加することが可能。全員の意見を簡単に取りまとめることができます。

ストレージアカウントの連携

Acrobat DCのインターフェイスからBox、Dropbox、Googleドライブ、Microsoft OneDriveまたはSharePointアカウントのファイルに直接アクセスし、デバイスまたはユーザー間で簡単に共有できます。



関係者がPCやスマートフォンから同じPDFにアクセスし、内容を確認したり、コメントを書き込んだりして、意見のすり合わせができます。



追加したいストレージを選択し、アカウントにログインしてAcrobat DCからのアクセスを許可します。

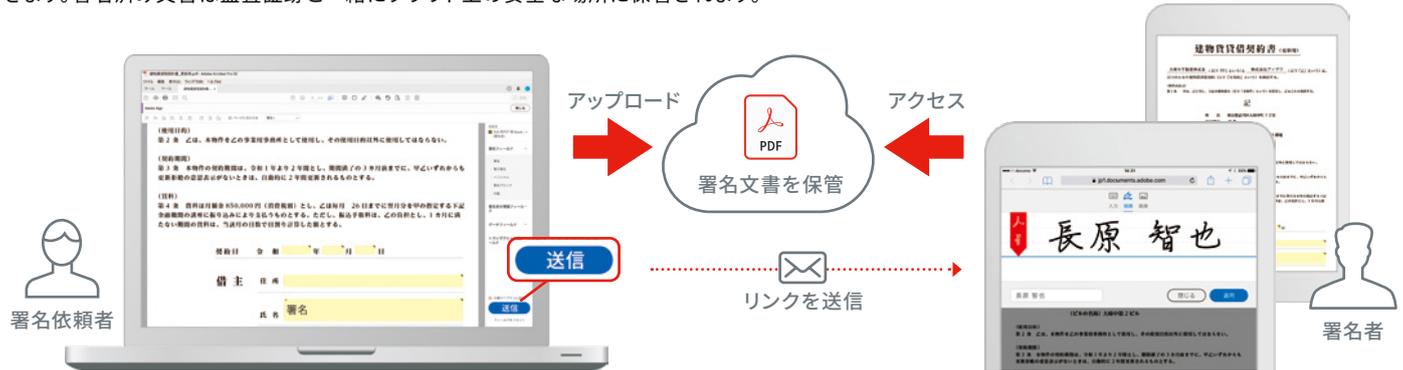
5. 署名

Adobe Sign機能を使用すれば、契約書や稟議書など署名が必要な文書をPDFで送信し、相手がどこにいても素早く署名をもらうことができます。署名は法的に有効で、文書は業界最先端のセキュリティ標準で保護されます。



どこにいても署名を素早く収集

PCやモバイルからわずか数クリックするだけで署名用文書を送信できます。受信者はモバイルデバイスとブラウザがあれば、どこにいても数分で署名できます。署名済み文書は監査証拠と一緒にクラウド上の安全な場所に保管されます。



署名用文書をクラウドにアップロード。署名者にリンク付きの通知メールを送信します。相手がいつ文書を開き、署名し、送信したかを追跡できます。

通知メールのリンクから文書をブラウザで開き、署名、送信すると、署名済み文書としてクラウドに保存されます。

6. セキュリティ

文書をメールで送る、受け取る、PDFならそのどちらも安心です。高度なセキュリティ機能が、情報の漏えいや不正な改ざん、標的型攻撃などから、重要なデータやシステムを保護します。専門的な知識は不要です。



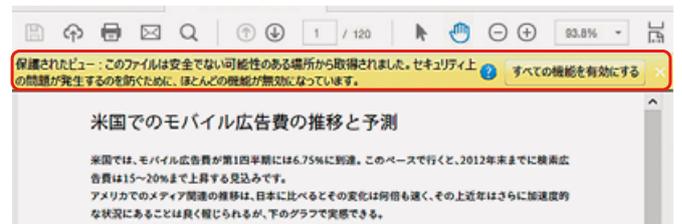
文書を保護して安全に配信

ファイルを開くためのパスワードのほか、編集や印刷、コピーなどを制限するための権限パスワードを設定して、重要文書を暗号化し安全に配信、共有することができます。



アプリケーションセキュリティで受信も安心

「保護されたビュー」(サンドボックス技術)の採用により、万一PDFに不正プログラムが仕込まれていても、重要なシステムやデータにアクセスされるリスクを軽減します。



「保護されたビュー」を有効にすることで、権限が限定された環境でファイルが実行がされ、他のシステムへの影響を防ぎます



Acrobat Pro / Standard 機能比較

機能	Acrobat Reader DC	Acrobat Standard DC	Acrobat Pro DC
操作			
タッチインターフェイスのデバイスで操作	●	●	●
ファイルをクラウドに保存、共有し、多様なデバイスから最新ファイルにすばやくアクセス	●	●	●
モバイルデバイスでのフォーム入力、署名および注釈	●	●	●
作成			
Word、Excel、PowerPointなどのOfficeアプリケーションからワンボタンでPDFを作成、保護、送信	—	●	●
印刷機能を持つアプリケーションからPDFを作成	—	●	●
複数の文書を1つのPDFファイルに結合、整理	—	●	●
Webページを変換し、リンクを備えたインタラクティブなPDFを作成	—	●	●
紙の文書をスキャンして、テキストの検索および選択が可能なPDFを作成	—	●	●
テキスト認識の実行後、エラーをチェックして修正できるよう、エラー候補と修正案を並べて表示	—	●	●
文書から写真を削除する際、背景を除去し、文書全体を調整	—	●	●
Microsoft Word for Macで高品質なPDFを作成	—	—	●
アクションウィザードで複数の操作手順を自動化、一貫した方法でPDFを準備	—	—	●
PDF/AやPDF/Xなど、ISO規格に準拠したPDF形式に変換、検証	—	—	●
Microsoft Project、Visio、Autodesk AutoCADからワンボタンでPDFを作成	—	—	●
編集			
WordやPowerPointで設定された箇条書きや文字列の折り返しを保持したまま編集が可能	—	●	●
書式を維持したまま、PDFを編集可能なWord、Excel、PowerPoint、またはRTFファイルとして書き出し	—	●	●
PDFページの挿入、削除、整理、およびしおり、ヘッダー、ページ番号、透かしを追加	—	●	●
PDFを最適化してファイルサイズを縮小	—	●	●
ファイルサイズの縮小など、PDFを自動的にまたは設定をカスタマイズして最適化	—	—	●
モバイルデバイスのカメラで撮影した画像をPDFに変換し、画像の傾きや余白を自動補正	—	●	●
紙の文書をスキャンして、PDF上ですばやく編集	—	—	●
テキストの追加や編集をiPadで実行	—	—	●*1
ページの並べ替え、削除、回転をiOSまたはAndroidタブレットで実行	—	—	●*1
オーディオ、ビデオ、インタラクティブオブジェクトをPDFに追加	—	—	●
2つのバージョンのPDFを比較し、すべての差分を確認	—	—	●
保護			
パスワードを用いてファイルへのアクセス、コピーや編集などを制限	—	●	●
セキュリティポリシーを作成、保存し、開いているPDFにすばやく適用	—	●	●
PDFの非表示情報やメタデータを検索して削除	—	●	●
墨消しツールで個人情報や機密情報をPDFファイルから恒久的に削除	—	—	●
レビュー			
ノート注釈やハイライト表示などの注釈、および「承認済」や「ドラフト」などのスタンプをPDFに追加	●	●	●
全員のフィードバックを1つのPDFファイルに収集	—	●	●
フォームと署名			
スキャンした紙の文書またはWord文書から、入力可能なPDFフォームを作成	—	●	●
フォームの入力、Adobe Sign (署名)、送信を電子的に実行	●	●	●
証明書ベースのデジタル署名を使用	—	●	●
オンライン利用			
表示、レビューのために送信した文書の進捗状況を、PC、モバイル、およびwebからトラッキング	—	●*1	●*1
他のユーザーにAdobe Sign (電子的に署名) を依頼し、ステータスをリアルタイムで追跡	—	●*1	●*1
Acrobat Readerやモバイル (Acrobat Mobile) 上でPDFの作成や書き出しを実行	—	●*1	●*1
オンラインストレージの利用	2GB	100GB*2	100GB*2

*1 パッケージ版・ライセンス版 (買い切り版) は未対応 *2 パッケージ版・ライセンス版 (買い切り版) は2GB ※ Mac OSはProのみの提供になります。

最新の詳細情報はここからご確認ください <https://acrobat.adobe.com/jp/ja/acrobat.html>

法人向けライセンスの購入について

アドビ購入プログラムは、組織の規模に関わらず、効率的かつ費用対効果の高い方法で、組織内のメンバーに必要なツールとサービスを提供することができます。VIP（アドビバリューインセンティブプラン）やETLA（アドビエンタープライズタームライセンス契約）などのプログラムには、ソフトウェアの複数ライセンスを購入、デプロイ、管理するための様々なオプションが用意されています。



VIP

柔軟なサブスクリプションライセンス

VIPは、ニーズが変化する組織に適した柔軟なサブスクリプションライセンスプログラムです。製品の全ての機能に加え、ライセンス管理を容易にするAdmin Console、予算サイクルに合わせた複数年契約、エキスパートによるサポート、お得なボリュームディスカウントなど、法人利用に適したサービスが揃っています。



ETLA

カスタマイズ可能なタームライセンス

ETLAは、高度な管理、セキュリティ、サポートを必要とする中～大規模組織に最適な3年間のタームライセンスです。導入する製品や契約内容を組織のニーズに合わせてカスタマイズすることが可能。年単位の支払いであるため予算が立てやすく、組織の規模の拡大に応じてライセンスを追加し、年1回の契約当日に補正することができます。

サブスクリプションライセンス	VIP	ETLA
対象製品	<ul style="list-style-type: none">Acrobat DC グループ版Acrobat DC エンタープライズ版	<ul style="list-style-type: none">Document Cloud エンタープライズ版Adobe Sign ビジネス版Adobe Sign エンタープライズ版
対象組織	ニーズが変化する組織	安定した組織や成長中の組織
契約期間	1～3年間	3年間
購入方法	都度、非集約	一括
支払方法	随時購入、支払い	年に1回まとめて注文

サポートについて

▼ アドビ ヘルプセンター

Document Cloudの全ての製品（デスクトップ、モバイル、サービス）について、よくある質問、ラーニングとサポート、トラブルシューティングとヘルプなどをご覧いただけます。また、コミュニティフォーラムに参加して、問題解決のヒントを得ることもできます。



<https://helpx.adobe.com/jp/support.dc.html>



チャットや電話でお問い合わせいただくことも可能です。
9:30 - 17:30（土日祝および弊社指定休業日を除く）

▼ エキスパートセッションサポート

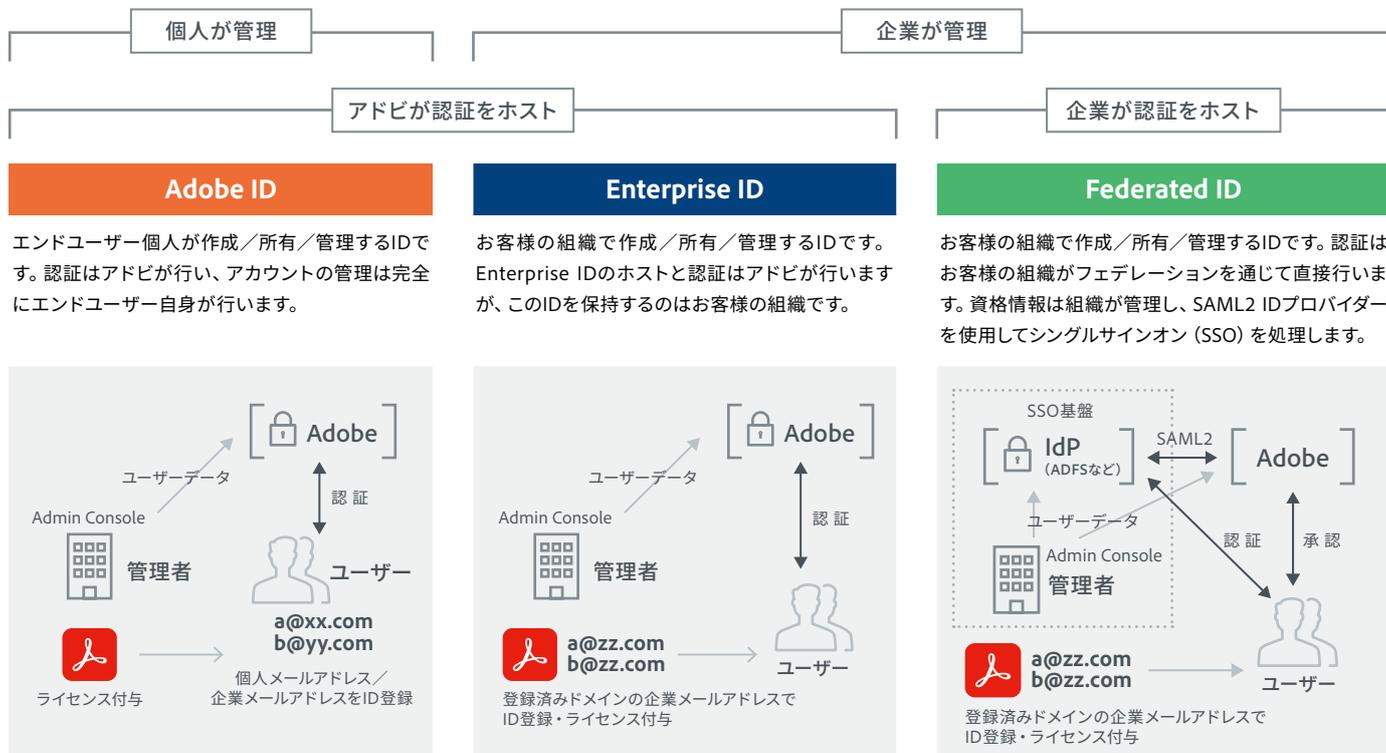
アドビ製品のエキスパートによる1対1の個別サポートで、製品の操作やワークフローに関する問題を解決できます。（グループ版は1ライセンスにつき年2回、エンタープライズ版は回数無制限）

▼ エンタープライズサポート

導入時の説明会およびデプロイメント支援、システム管理者向けサポート、優先的なテクニカルサポートなどが受けられます。（エンタープライズ版のみ）

ユーザーIDについて

アドビの製品およびサービスを利用する際のユーザーIDについては、Adobe ID、Enterprise ID、Federated IDの3つのIDタイプをご利用いただけます。Enterprise IDとFederated IDはエンタープライズ版のみ利用可能で、IDを企業が所有するため、システム管理者によるユーザーIDの削除を含めた完全な管理が可能になります。また、ストレージの専用暗号化キーやユーザーのデータ共有を制限する高度なアセット制御機能を使用することができるため、よりセキュアな環境を実現することができます。



IDタイプの比較	Adobe ID (アドビ アイディ)	Enterprise ID (エンタープライズ アイディ)	Federated ID (フェデレーティド アイディ)
用途	個人向け	企業向け	SSOを利用している企業向け
認証システム	アドビが提供	アドビが提供	組織のIdentity Provider (IdP) を利用 (SAML 2.0を利用したフェデレーション)
ユーザーIDの保存先	Admin Console	Admin Console	組織のディレクトリとAdmin Console
パスワードの保存先	アドビ	アドビ	組織のディレクトリ
IDの所属先	個人	組織 (会社、学校、団体など)	組織 (会社、学校、団体など)
多要素認証	電話 (SMS) による二段階認証	電話 (SMS) による二段階認証	IdPにより実現
ログインの制限	×	×	IdPにより実現
ストレージの暗号化キー	標準	専用	専用
管理者によるIDの削除	×	○	○
クレジットカードの登録	○	×	×
メールアドレスの限定	×	○	○
ログファイル	×	○	○*

* 詳細なログの取得はIdPにより実現可能

Adobe Acrobat DC ニーズに合わせて選べるプラン

プラン	個人版	VIP		ETLA	
		グループ版	エンタープライズ版	ビジネス版	エンタープライズ版
対象	個人ユーザー	中小規模法人		大規模組織	
Acrobat DC	Pro / Standard	Pro / Standard		Pro / Standard	
Adobe Sign (電子サイン機能)	個人版*1	個人版*1		ビジネス版*2	エンタープライズ版*2
Document Cloud サービス	●	●		●	
Admin Consoleによるライセンス管理	—	基本管理ツール	高度な管理ツール	高度な管理ツール	
グループ単位のライセンス管理	—	—	●	●	
最小ライセンス数	1ライセンス	1ライセンス	担当営業とご確認ください	担当営業とご確認ください	
契約期間	1年	1年または複数年の期間選択 (13~36ヶ月)		3年	
ユーザーID	Adobe ID	Adobe ID	Adobe ID、Enterprise ID、Federated ID	Adobe ID、Enterprise ID、Federated ID	
アドビサポート	プレミアムサポート*3	プレミアムサポート*3	エンタープライズサポート*4	エンタープライズサポート*4	
エキスパートサポートセッション*5	—	年2回	無制限	無制限	
ボリュームディスカウント	—	VIPセレクト (10ライセンス以上) で利用可能		担当営業とご確認ください	

*1 Acrobat DCに搭載されたAdobe Sign機能となります *2 別途契約が必要 *3 電話、チャット、フォーラムでのテクニカルサポート

*4 導入時の説明会およびデプロイメント支援、システム管理者向けサポート、優先的なテクニカルサポート *5 アドビ製品エキスパートによる1対1のサポートセッション

付属する電子契約機能比較

プラン	個人版*	VIP*		ETLA	
		グループ版	エンタープライズ版	ビジネス版	エンタープライズ版
署名依頼の電子メールに自社のロゴやメッセージを加える	—	—		●	
よく使用する文書とフォームを再利用可能なテンプレートとして保存し、グループ内で共有	—	—		●	
フォームに高度な計算式、条件付きロジックなどを追加	—	—		●	
Workflow Designerによる一貫したプロセス作成	—	—		—	●
主要ビジネスアプリとの事前統合 (SalesforceやWorkday等)	—	—		—	●
API連携	—	—		—	●
署名の委任	—	—		—	●

* Acrobat DCに搭載されたAdobe Sign機能となります



Adobe Acrobat 2017 ライセンス版 (買い切り版)、Acrobat Reader 2017のサポートが2022年6月6日に終了いたします。

Acrobat DC 2015のサポートは2020年7月に終了しています。

● Acrobat 最新版へのアップグレードには、Acrobat DC (サブスクリプション版) を推奨します。

サポート終了について詳しくは

www.adobe.com/jp/information/acrobat/endsupport.html

サポート終了後は、テクニカルサポートやセキュリティアップデートの提供が行われません。



企業向けCLP Acrobat ライセンス版 (買い切り版) (Acrobat 2017 Pro/Acrobat 2017 Standard) 日本語版ライセンスの提供は2020年9月30日に終了しています。

● Acrobat 最新版へのアップグレードには、Acrobat DC (サブスクリプション版) を推奨します。

今後もAcrobatおよびPDFを安心してお使いいただくために、最新のAcrobat DC サブスクリプション版へアップグレードすることを強くお勧めします。

最新のAcrobat DC サブスクリプション版は、追加費用なしで最大2台までのPCで使用可能、モバイルデバイスからでも常に最新のファイルにアクセスできるなど、従来の永続版にはない様々なメリットがあります。

ご注文・お問い合わせはアドビ・ビジネスダイレクトストアで

銀行振込・請求書払い・クレジットカード払い対応。
電話で相談しながら購入いただけます。

電話

☎ 0120-921-104

受付時間
平日9:30 - 17:30

オンラインでのご注文・お問い合わせはこちら

URL

www.adobe.com/go/abd



Email

ABD_jpteam@adobe.com

アドビ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.com/jp/

このカタログに記載の情報は、2020年9月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2020 Adobe. All rights reserved. AS/ST1721 9/20

お問い合わせはこちら

